

三栄通りの無電柱化

三栄町交差点 ▶▶▶ 四谷一丁目交差点

新宿区立
新宿歴史博物館
← 150m

新宿区 →
四谷保健センター
Yotsuba's Public Health Center
女性の健康支援センター
Health Support Center for Women
訪問看護ステーション
Visiting Nurse Station
四谷高齢者総合相談センター
Yotsuba General Consultation Center for the Elderly
新宿東清掃センター
Shinjuku-Higashi Waste Collection Center
社会福祉法人
新宿区社会福祉協議会東分室
Shinjuku Social Welfare Conference East Branch Office

 新宿区
SHINJUKU CITY



事業概要

Outline

三栄通りは、新宿通りと靖国通りに並行する延長550mの路線で、外堀通りと津の守坂通りを結び四谷地区における主要道路です。周辺には三栄公園、新宿歴史博物館、新宿東清掃センター及び四谷保健センターなどの公共施設が多いことから、新宿区都市マスタープランにおいて、歩行系幹線道として位置づけられています。

このため、無電柱化とあわせて歩道を拡幅し、バリアフリー化整備を行い、防災機能の強化や快適な歩行空間の確保及び、良好な都市景観の創出を図りました。

また、四谷一丁目から四谷見附北交差点区間については、駅周辺の一体的なまちづくり(旧四谷第三小学校や財務省官舎跡地を活用した市街地再開発事業)において無電柱化を行う予定です。

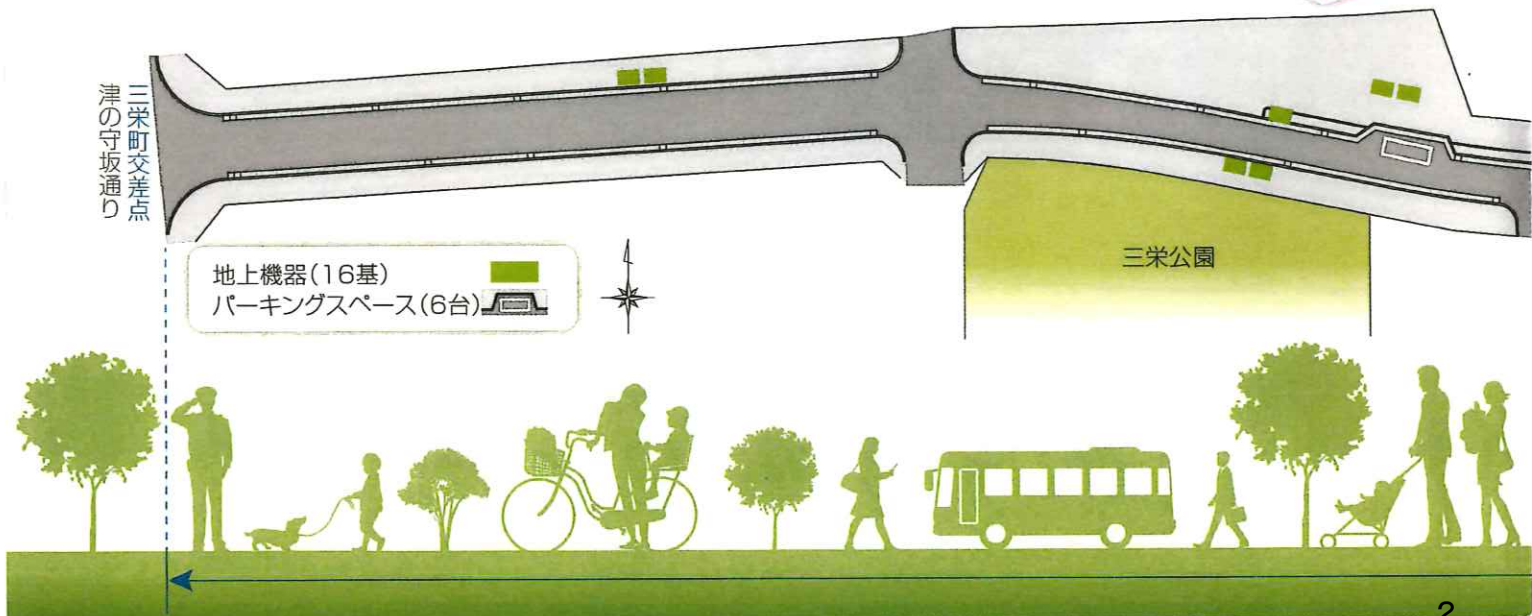
案内図

Information Map



平面図

Ground Plan



無電柱化の効果

Effect

① 都市防災機能の強化

地震や台風などの災害時に、電柱倒壊による道路の閉塞を防ぎ、ライフラインの安定供給や救急活動の円滑化が確保されます。



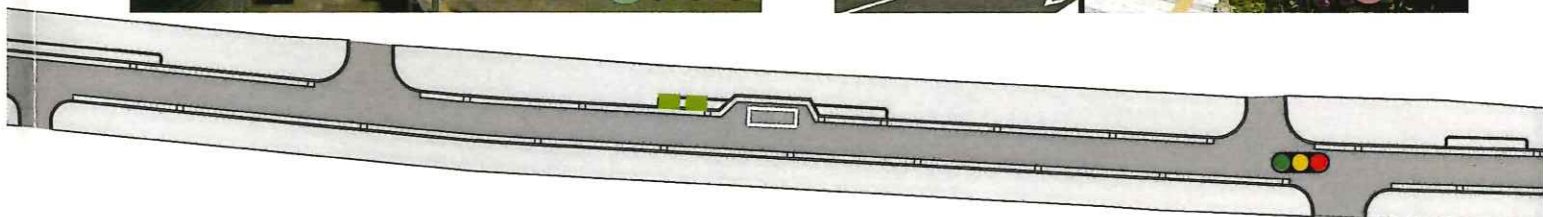
② 快適で安心な歩行空間の確保

無電柱化とあわせて、歩道の拡幅・段差解消や点字ブロックの設置など、バリアフリー化に配慮した整備を行うことで、歩行者だけでなく車いすやベビーカーも移動しやすい歩行空間が確保されます。



② 良好な都市景観の創出

景観の阻害要因となる電柱・電線類をなくし、良好な都市景観を創出するとともに、地域振興の促進を図ります。

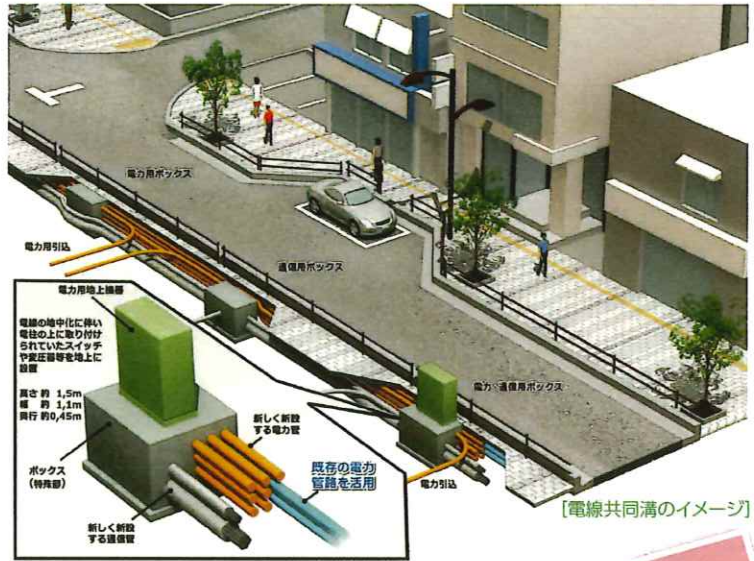


無電柱化のイメージ

Image

新宿区では、電線共同溝による無電柱化を行っています。電線共同溝とは、電線の設置及び管理を行う2以上の者の電線を収容するため、道路管理者が道路の地下にもうける施設であり、道路上にある電柱や電力線、通信線を地下に収容することにより、快適な歩行空間の確保、景観の向上を図ることを目的としています。

なお、電線共同溝の整備は、「電線共同溝の整備等に関する特別措置法」に基づき行われますが、電線共同溝の整備に指定した道路では、新たな電柱や電線の占用が制限されます。



[電線共同溝のイメージ]

電線共同溝工事の流れ

Flow

ステップ ① [設計・手続き]

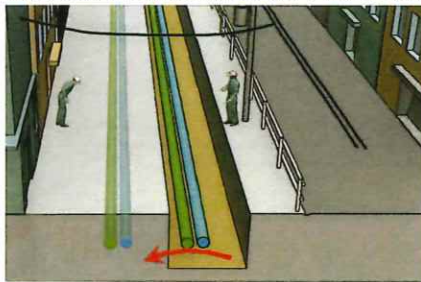
→ 4年



ステップ ② [支障移設]

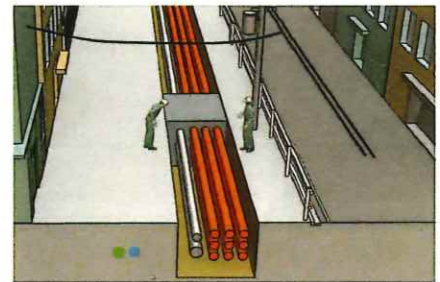
→ 1年

電線共同溝の支障となるガス・水道管などを移設



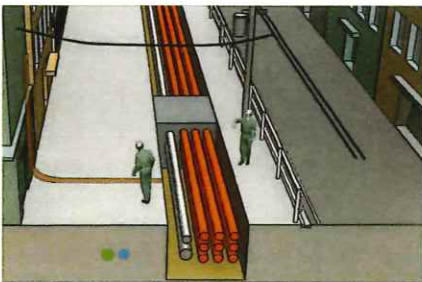
ステップ ③ [電線共同溝工事]

→ 2年



ステップ ④ [各企業者入線工事]

→ 1年

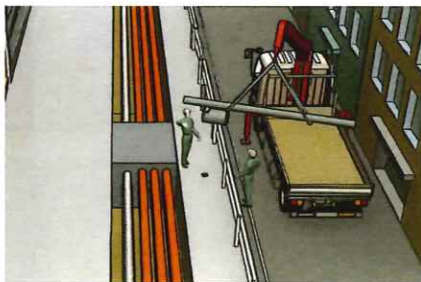


ステップ ⑤ [電柱・電線の撤去]

ステップ ⑥ [舗装復旧工事]

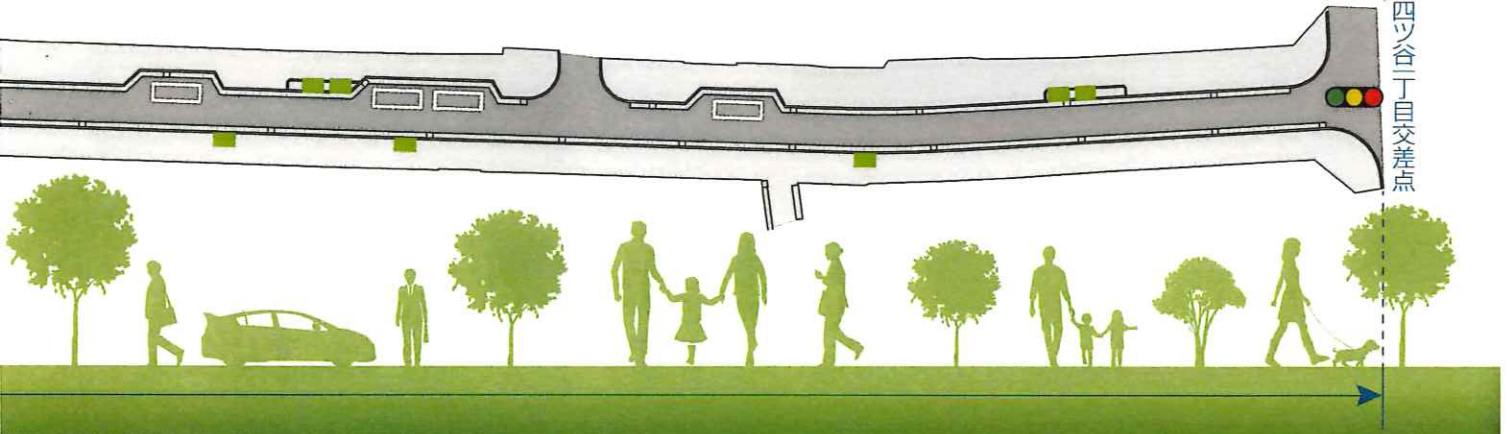
約9年

→ 1年



至 四ツ谷駅 →

四ツ谷二丁目交差点



整備前・後

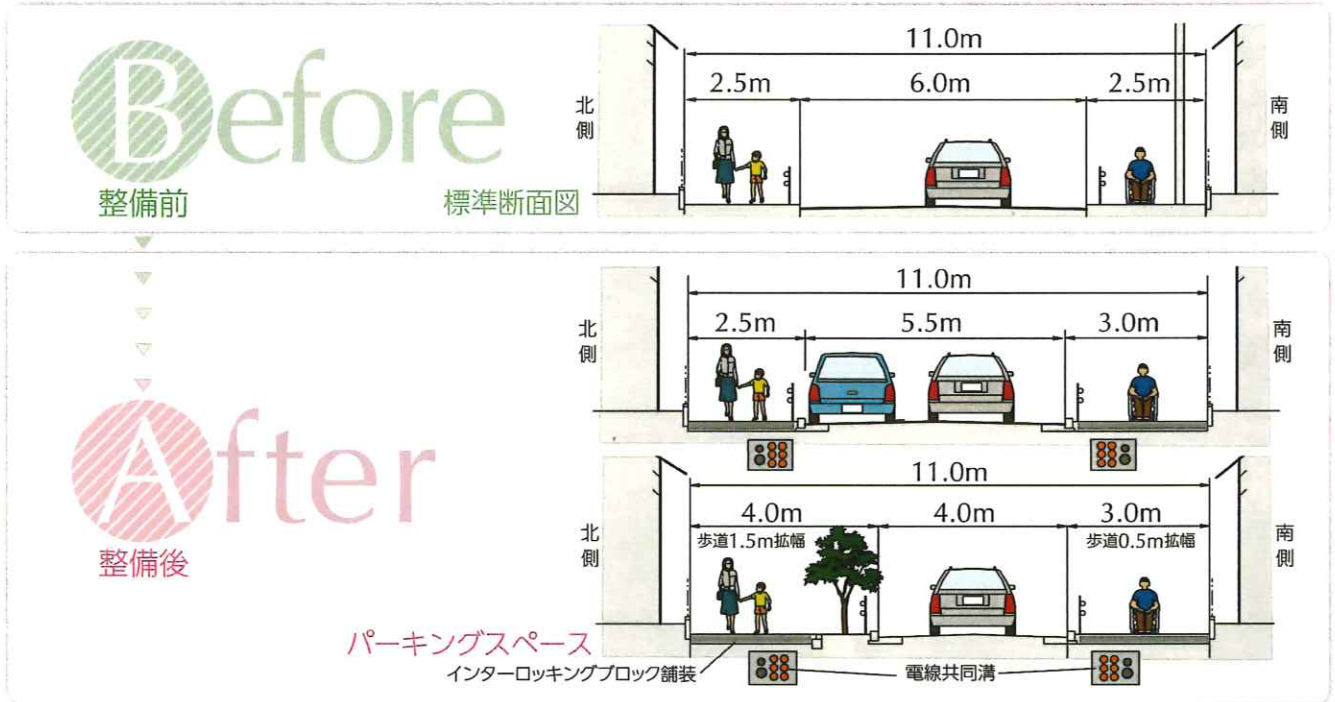
Before After

バリアフリーとの一体的な整備

三栄通りの一方通行区間は、歩行者の交通量が多いことや、違法駐車が多いことなどから、無電柱化整備とあわせて歩道の拡幅や視覚障害者誘導用ブロックの設置等、バリアフリーとの一体的な整備を行っています。

【電線共同溝整備概要】

●整備延長：683m(北側338m・南側345m) ●地上機器設置数：16基 ●既存電柱撤去本数：30本





新宿区みどり土木部道路課

〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町 1-4-1
TEL.03-5273-3525 FAX.03-3209-5596



平成28年12月発行
再生紙を使用しています。